



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2022年5月25日発行

SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 熊谷祐司/副会長 鶴田秀樹/幹事 森崎正治/SAA 澤井一徳

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

2021-22年度

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

国際ロータリーテーマ

例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

6月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
休会 例会 例会 休会 最終夜間例会 休会

本日のプログラム (5月25日)

クラブ協議会 (次年度活動計画立案)

次回のプログラム (6月8日)

三原市 人権推進課 向井美穂 様
「働きやすい職場づくりについて (職場におけるダイバーシティ)」

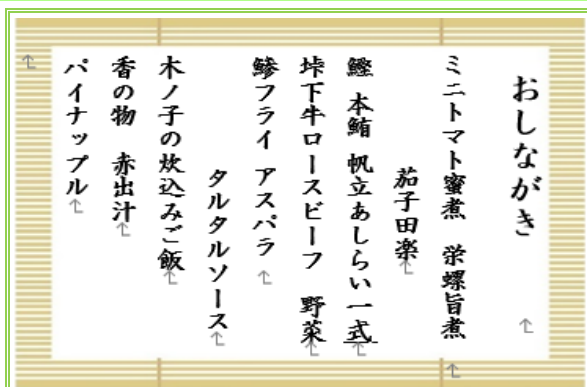
第1229回 2022年5月18日 例会記録 (フォレストヒルズガーデン)

点 鐘 熊谷会長
ロータリーソング「奉仕の理想」

出席報告

	会員数 名譽・シニア	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (5/11)	27 2	22 0	1	2 2	92.00
メイク	鶴田秀樹				

食事時間



会長時間

皆さんこんにちは。

15日、地区協議会ご出席の皆様、お疲れ様でした。私は、途中で退席し、米山関係は、佐々木先生に代理出席いただきました。大変、ご迷惑をおかけしました。感謝申し上げます。今日は、出席報告もありますが、併せて宜しくお願いします。



藤川さん、泡だて器、クラウドファンディング参加しました。PIPOは6月に届く予定で楽しみです。

さて、先月の初めに庄原に花見に行きました。その途中、車を運転していて、いろいろ考えました。考え事、というよりも白屋夢、といったほうが適切かもしれません。何を考えていたかという、空飛ぶ自動車のことです。出かけに「空飛ぶ自動車が実験段階に入った」というテレビニュースを耳にしたので、つついそのことに考えを巡らせていました。今の自動車は二次元の世界ですが、空飛ぶ自動車は三次元ですから空中を何分割もして路線が設定できます。但し、落下の危険性が新たに発生します。そこで、次のことを考えていました。(風が吹けば桶屋が儲かる)

1. インフラはどうなる？

- ① 高速道路、トンネル、橋梁は必要か？
- ② 空飛ぶ自動車は、バンジーのセーフティーネットが必要？…設置は簡単
- ③ トンネルは核シェルターに転用？

④山が越えられるので、山の木の伐採が必要となる。但し、空中地上権が発生して、地代が貰える？

2. 現インフラが充実した先進国の優位性が失われ、どこが優位になるか？

- ①山持(地上権と給電所経営)、林業、セイフティーネット作成業・設置業・・・
- ②アフリカ諸国・・・セイフティーネットや太陽光パネルが設置しやすい、日当たりが良い、給電所が設置しやすい、空飛ぶ自動車向きのまちづくりができる、・・・
- ③先進国は、インフラ整備が出来過ぎていることがネックとなる？
- ④後進国は、旧インフラが少ないので、新インフラが早く整備できるから(旧来の既得権益者の反対も少ない)キャッチアップが早い。これは、銀行口座を持たない人が多い国ほど、スマホ決済が進んでいることでもわかります。

幹事報告

《配布物》週報1228号、5月定例理事会報告
地区研修協議会資料
《回覧》今後の例会出欠予定表
《お知らせ》

卓話時間

地区研修・協議会 報告

日時 2022年5月15日(日)
13:00~17:00 合同本会議・分科会
場所 広島国際会議場

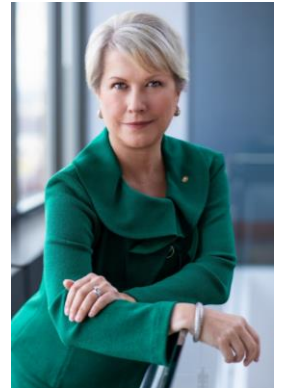


会長・幹事部門報告 次年度河井会長

地区研修協議会にご参加くださいました皆さま大変お疲れさまでした。約700名参加のもと国際会議場にて行われました。



初の女性 RI 会長となりますジェニファー・ジョーンズ氏は、ロータリーの力とつながりを生かした体験に基づき「IMAGINE ROTARY イマジンロータリー」をテーマとされました。会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。



これを受けて石川ガバナーはガバナー信条として「人生100年時代に突入し、健康寿命を延ばす」ことが何よりも重要な課題とされています。健康寿命を延伸することにより、5大奉仕と7つの重点分野を遂行するために必要な財団支援を行い、提唱された中核的価値観とビジョン声明を実施するために、国際ロータリーの活動指針であるDEIをクラブで検討し、クラブに合った意識改革を実行するため、状況を分析し、問題点を改善、さらにクラブの長所を伸ばすことが『IMAGINE ROTARY』だといわれます。



分科会、会長幹事部門では服部陽子RI研修リーダーにより「DEIとこれからのロータリー」という題目でご講演いただきました。各クラブが直面している多様な会員基盤、ロータリーが大切にしている Diversity 多様性, Equity 公平さ, Inclusion 包含これを略してDEIです。我がクラブにおいても今後も取り組んでいかなければならない課題がありますが最後の I(アイ)インクルージョン(迎え入れる)は会員数を増やすことにあたり一番注力していかなければと思いますが一番難しい問題ですよね。

後半では日本財団常務理事 海野光行氏による「日本財団 瀬戸内オーシャン X の活動内容」をご紹介いただきました。年間200t以上と推定される瀬戸内海でのプラスチックごみの調査研究・企業や地域連携で清掃やプラごみ再利用といった活動をされておられます。詳しい内容はweb検索してみてください。

終わりに、開会式にて石川ガバナーより我がクラブの地区補助金活用実績のご紹介をいただき大変恐縮でした。今年度は地区補助金を得られたのではないかと少し期待したいところであります。

クラブ管理運営部門 次年度小島委員長

1.クラブ管理運営委員会の仕事

- ①定款・細則の点検 適応と改革
- ②会員基盤の拡大

詳細は会員増強委員会
DEI 委員会の設置

DIVERSITY EQUITY INCLUSION

- ③DX の推進 デジタルトランスフォーメーション
IT,WEB,SNS 等の活用
- ④戦略計画の見直し

2.例会の重要性について脇正則カウンセラー討議

集うことが楽しい

役に立つ楽しい例会

◎知識 ・異業種会員の卓話

・魅力ある卓話者 女性
健康寿命

著名人 WEB 遠隔地・海外の講師
米山奨学生・ロータリー奨学生

◎親睦 思いやりある暖かい例会

・異業種交流 席順
・懇親 ・食事

◎ロータリーの心を知る

◎時事問題

3.感想

- ・記念写真には参加出来ました。
- ・行き・帰りに時間をかけて参加してるので価値ある例会に、またワクワク出席したくなる魅力的な例会にするように考えます。

公共イメージ部門 次年度楠部広報委員長

カウンセラー 前田 茂 PG (三次 RC)

1.事例発表

下関 RC

市内 5 クラブで、ロータリーが主催するコロナワクチンの職域接種を実施
対象者は会員の会社の従業員や大学生、若年層。

4 日間で 1,611 名に打った。報道機関はあまり取り上げてくれなかった。SNS を使って発信するのが良かった。

光 RC

- ①段ボールパーテーション組立寄贈。
- ②虹が浜海岸清掃(ロータリー奉仕デー)
- ③がん検診率向上啓発ウェットティッシュを 2000 個配布
- ④図書寄贈 41 年間で 2,020 冊になった。
- ⑤ウクライナ人道支援金を開戦直後と決め 3 月 15 日実施
- ⑥アフガニスタンにランドセルを贈る事業。今年 136 個集まった。

メディア対策としては、スピード感を持って早くアピールすることと、事前に事業内容を書類にまとめておいて渡しておくことが有効。



福山丸の内 RC

- ・25 周年事業で、地区補助金を利用し広島市の厚生保護施設に空気清浄機などを多数寄贈。法務大臣から感謝状が届いたことをラジオで放送してもらった。
- ・ウクライナから来た中学生を支援。

2.公共イメージ委員会 アンケート集計結果(資料配布)
ホームページについて、WEB 会議について、ロータリーの友について、報道関係について、週報月報について、週報月報以外の刊行物について

3.ロータリー奉仕デーin マツダスタジアムについて

4 月 28 日(目的)ポリオ根絶アピールとウクライナ支援募金。その他ロータリーの公共イメージ調査。746 名が回答。募金は、519,586 円(半分はポリオ根絶に、半分はウクライナ支援に)

RC の CM をバックスクリーンで 1 日 2 回流した。
T シャツ・うちわを作った。

公共イメージ調査では、RC については知っている人は 30%、名前だけ知っている人が 30%、ポリオ根絶については知らない人が 75%。

4.ロータリーの友について

1952 年創刊で 70 周年になる。ロータリーの友 WEB 版がある。活動報告を載せて欲しい時は、内容のわかる写真をつけて 1 カ月以内に投稿。

一般向け PR 誌としてロータリーの友と歩む 1 セット 10 冊 5,000 円+消費税

5.マイロータリー登録を 100%に(広島空港 RC81.5%)

奉仕プロジェクト部門 次年度岡田国際奉仕リーダー

1.講演:「歯・口腔の病気と全身の健康〜がん予防新12か条プラス」

周南公立大学 理事長・学長 高田隆氏
女性が嫌がる男性のトップ3は、

- ①歯が黄色・汚れている②口臭がある
- ③歯茎が汚いなど歯に関することである。

中年以降の人で8割の人が歯周病であるというデータがある。介護施設では、口腔衛生ケアに力を入れている。口腔ケアを行うことにより肺炎を予防することができるし、インフルエンザなどの感染症予防にもつながる。また、若い妊婦が歯周病に侵されていると早産や低体重出産に繋がるということもデータで明らかになっている。歯周病は肺炎・糖尿病・大腸がんのもとである。歯周病防止に努めてがん予防にも繋げてほしい。「がん予防新 12 か条プラス」を提唱したい。

“病は口より入り禍は口より出ず”という諺を知っておいてほしい。

2.奉仕プロジェクト事例紹介

題目:「健康寿命と延ばすために減塩・増カリのすすめ」

発表者:呉ロータリークラブ 日下美穂氏

SDGsでも健康寿命を延ばす試みが進められている。脳・心・血管病の主な原因は、食塩が多い食事にある。



減塩が大事で1日2gの摂取が適量である。食塩を過剰に摂取すると高血圧、動脈硬化につながる。WHOは、1日5g未満の摂取を推奨している。減塩とDASH食についてお勧めしたい。DASH食とは、Dietary Approaches to Stop Hypertensions(高血圧防止食)の事。ナトリウム比Na+Kaの比率は、少ない方がよい。

呉ロータリークラブでは例会を行っている呉阪急ホテルで1回の食事でNa:2.6g、Ka:1000mgのナトカリランチを出している。

塩分を控えることは大人になってからでは難しい。子供の時から減塩食に慣れる必要がある。そのためには食育が大事だと思う。

題目:「新型コロナウイルスワクチン合同接種

5ロータリークラブの取り組み」

発表者:下関ロータリークラブ 松村一稔氏

下関市では、65歳以上のワクチン接種がなかなか進まず市民から不満が出ていた。コロナ対策委員長が5RCでの職域接種ができないかと声をかけ、合同接種することになった。最終的に3,196人接種できた。こうした5RC合同で職域接種を行うことで大きな貢献ができたと思っている。

青少年奉仕部門 次年度三好奉仕プロジェクト委員長

基本方針

青少年奉仕における年齢層別の4つのリーダー育成プログラム(ローターアクト・インターアクト・青少年交換プログラム・青少年指導者養成プログラム)が円滑に進行するようバックアップし、各クラブのプロジェクト成功のために適切な情報提供等の支援をしていきます。



ローターアクト

地区協議会・クラブ公式訪問・地区交流会・地区年次大会の開催をした。ローターアクトの現状は、稼働クラブ及びアクターが減少している。クラブ数・5クラブ(2クラブ減少) 会員数・50名(10名減少)今後は検討段階ですが、今年度より更に良き形としていきたい、その為には、ローターアクト提唱ロータリークラブを含め、地区内RCの皆様の更なるご支援が必要となってきます。

インターアクト

英数学館の活動報告。ガーナへ「チョコ募金」として、クラウドファンディングで20万円集め送った活動報告

青少年交換プログラム

コロナで2年間できなかったの、今年は現在募集中で、行う予定。

青少年指導者養成プログラム(RYLA)

こちらもコロナで2年間できなかったの、今年は是非行いたい。12月3日~4日・参加者170名予定で、防府市で行う。防府マラソンのボランティア活動をしていただく予定です、詳しくは別途案内いたします。

会員増強部門 次年度川本会員組織委員長

分科会テーマ

- ・クラブ運営の柔軟性の本質と会員増強の感について検討
- ・地区内のオープン例会事例及び会員増強事例発表。



この人がいるクラブに入会したい、人間的にも職業人的にも素晴らしい方がいるクラブに入って仲間になりたい。そういう思いを持っていただけることが、会員増強の根幹ではないでしょうかというお話があり、非常に気が引き締まる思いがいたしました。

ロータリー財団部門 次年度R財団伊藤委員長

ロータリーの重点分野に、新たに環境の分野が加わったという報告がありました。10月の地区大会では、「瀬戸内海の海洋汚染について」の講演が予定されています。



年次基金1人当たり150ドル、ポリオプラス基金1人当たり30ドルの目標を達成していないクラブは半数以上あり、広島空港RCもその中に含まれています。財団の財源も近い将来枯渇すると言われていました。そのため補助金の仕組みが変更され、クラブの負担が大きくなっています。1人当たりという目標は、クラブの大きさには関係ないので達成したいと思います。また、グローバル補助金奨学生の素晴らしい発表を聞くなど有意義な会でした。

米山記念奨学会部門 次年度がん予防推進委員長

熊谷会長の代わりに米山記念奨学事業部門に参加しました。ロータリーとライオンズの違いを聞かれることが多いかと思えます。米山記念奨学事業、ポリオ撲滅への積極的な支援、の2つを強調するように杉川ガバナーがカウンセラーとして出席されており述べられていました。米山事業が始まって50年以上たち、奨学生が



様々な形で日本との平和の架け橋になっていることの報告がありました。当初、アジアの方々への支援が基本だったようで、支援先が中国がどうしても多いですが、40パーセントを超えないよう工夫されているようです。最近のアジアの中の日本の位置も当時と異なってきたかもしれませんが、我々ロータリアンは引き続き支援が必要だと思いました。寄付の話ですが最近、年間1,000円から3,000円に上げてもらった普通寄付ですが、5,000円が地区の中でも普通になります。様々な意見があろうかと思いますが、次年度河合会長エレクトはじめ、クラブの皆様ご一考よろしくお願いいたします。